

ロック音楽劇『ガウディ×ガウディ』（主演：沢田研二、渡辺大知） 完売続出！東京追加公演が狙い目！

3月14日（土）～29日（日）東京・EX THEATER ROPPONGI、4月3日（金）～7日（火）大阪・梅田芸術劇場シアター・ドラマシティにて、沢田研二と渡辺大知が W 主演を務めるロック音楽劇『ガウディ×ガウディ』が上演されます。

沢田にとって9年ぶりの主演舞台とあってチケットは即完売。現在は追加公演の、東京公演3月18日（水）13時、3月27日（金）13時、大阪公演4月6日（月）13時の回のみ販売となっています。

沢田はマキノノゾミとタッグを組んだ音楽劇シリーズを2006年から2017年まで精力的に展開。2017年の「大悪名～The Badboys Last Stand!」をシリーズの最終章と銘打ち、2人の集大成ともいえる大作に仕上げました。しかし、沢田の「ガウディ」をテーマにした“ロック音楽劇”というひらめきにより、再び名タッグが復活することに。ガウディの没後100年、サグラダ・ファミリア「イエスの塔」完成というこの記念の年に、世界中の人々を今なお惹きつけてやまない建築家・ガウディを、“若きガウディ”×“老いたガウディ”の邂逅という未知なるストーリーでお届けします。



老いたガウディ役を演じるのは沢田、若きガウディを演じるのは渡辺。音楽界にとどまらない魅惑的な才能を持つこの2人が、時を超えた同一人物をどのように演じるのか。

稽古では、御年77歳、来年にはデビュー60周年を迎える沢田が、老いてなおサグラダ・ファミリアへの情熱を苛烈に燃やすガウディを、ときに激しく、ときに弱弱しく表現。そして、その胸の内を弾けんばかりに歌いあげる歌声は、まさに沢田の真骨頂です。

ミュージシャン、俳優、監督と、今まさに第一線の活躍を見せている渡辺は、建築家デビューし新たな時代を築こうとする若きガウディそのもの。建築に、恋に、自分の才能と未来を盲目的に信じて疑わない危うい澆刺さを稽古でも十二分に発揮していました。

この圧倒的な存在感を持つ主演2人の脇を固めるには重厚感ある役者陣が必要不可欠。ガウディが恋に落ちる女性役を中村 中。ガウディの生涯の友・ロレンソ・マタマラ役を串田和美（晩年）と野田晋市（青年）、ガウディの精神的な支えとなったトラス神父を内田紳一郎。さらに、若杉宏二、有馬自由、すわ親治、森下じんせい、細見大輔と、この音楽劇シリーズに欠かせない俳優たちも再び集結しました。



本作の解禁が話題になったのはもちろんのこと、白井良明が楽曲制作を手掛けることも音楽ファンの間で大きな話題に。白井はこれまで沢田のサウンドプロデュースを手掛けており、沢田のことをよく知る間柄だが、音楽劇を手掛けるのはこれが初めて。音楽好きなマキノと対話を重ねる中で、彼らの中に沁み込んだ70～90年代のロックを感じさせる楽曲が次々と完成したとのこと。1900年前後、激動のバルセロナを生きるガウディと彼を取り巻く人々の物語を舞台の上から生バンドで彩ります。バンドメンバーも役者陣に負けず劣らず豪華な顔ぶれ。

ギターは白井自身が担当し、もう一人のギタリストとして松江潤、ベーシストに雲丹亀卓人と玉木正太郎、ドラマーにオータコージ、キーボーディストに丸山隼矢と小林俊太郎と、この音楽劇のために結成されたロックバンドの極上のサウンドを体感することができます。

追加公演のチケットは各プレイガイドにて販売中。詳細は公式サイトにてご確認を。

ロック音楽劇『ガウディ x ガウディ』

出演：沢田研二、渡辺大知

中村 中、野田晋市、若杉宏二、有馬自由、すわ親治、
森下じんせい、細見大輔、内田紳一郎、串田和美

バンド：白井良明 (g)、松江 潤 (g)、雲丹亀卓人 (b)、玉木正太郎 (b)、オータコージ (ds)、丸山隼矢 (key)、
小林俊太郎 (key)

※ツインギター、ベース、ドラム、キーボードの5人編成

※ベースとキーボードは公演によって異なる

作・演出 マキノノゾミ

音楽 白井良明

振付演出 南 流石

美術：石原 敬

衣裳デザイン：伊藤佐智子

<東京公演>2026年3月14日～29日

会場 EX THEATER ROPPONGI

※完売公演多数

※追加公演 (3/18 (水) 13時と3/27 (金) 13時)

お問い合わせ：サンライズプロモーション 0570-00-3337

<大阪公演>2026年4月3日～7日

会場 梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ

※全公演完売

お問い合わせ ページ・ワン 06-6362-8122

公式ホームページ <https://gaudi2026.jp>

(宣伝：キョードーメディアス)